

# 令和3年度 社会福祉法人つばめ福祉会 事業計画書

期間 令和3年4月1日～令和4年3月31日

## 1. ビジョン

「すべては皆の笑顔のために」

つばめ福祉会は、関わる全ての方（利用者と家族、職員、関係機関、地域の方）が互いにつながり、支え合い、喜びを分かち合える法人、誰もが輝き、希望と幸せを感じられる法人を目指します。

## 2. キーワード

ビジョンを形にする為、以下の3つのキーワードを常に意識し職務に当たります。

「安心」 …安心できる環境の提供に努めます

「繋がり」 …人と人の絆や繋がりを大切にします

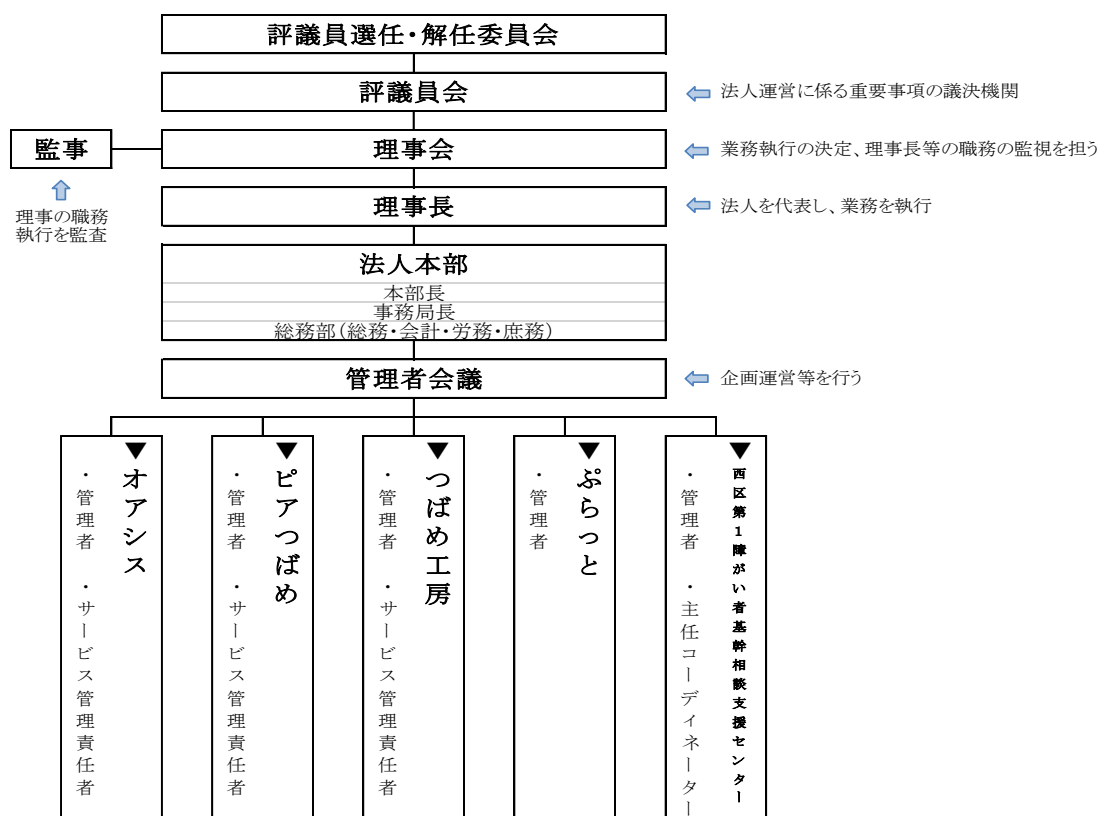
「希望」 …希望が持てる関わりを心掛けます

## 3. 行動指針

- (1) 常に利用者の立場に立ち、優しさと思いやりをもって行動する。
- (2) 専門知識の習得と援助技術の向上を目指し、常に自己研鑽に努める。
- (3) 地域のニーズを把握し、地域福祉に貢献する。

## 4. 法人運営について

### (1) 組織図



(2) 役員及び評議員（令和3年2月1日時点）

役職	氏名	備考	役職	氏名	備考
理事長	鷹尾 和顕		選任解任委員	門田 雄一	外部委員
理事	三野原 義光		選任解任委員	北古賀 康博	監事
理事	黒岩 宣征		選任解任委員	井上 悦子	事務局
理事	藤原 浩志		評議員	古川 忠	
理事	西村 和徳	事務局長	評議員	廣田 悦子	
理事	西村 隆之		評議員	山崎 純裕	
			評議員	辻野 伸茂	
監事	北古賀 康博		評議員	外木場 達郎	
監事	田中 雅美		評議員	前田 之雄	
			評議員	阿部 哲法	

(3) 理事会・評議員会等のスケジュール（新型コロナウイルス感染状況により変更の可能性あり）

理事会 5月、6月、11月、3月

評議員選任・解任委員会 5月

監事監査 5月

評議員会 6月

法務局登記 6月末日

## 5. 事業について

(1) 実施事業

事業所名	事業種別	定員	契約者
つばめ工房原作業所	就労継続支援 B 型	20 名	31 名
ピアつばめ	就労継続支援 B 型	14 名	27 名
	生活訓練（そらいろ）	6 名	7 名
喫茶・レストラン オアシス	就労継続支援 B 型	20 名	22 名
ぷらっと	地域活動支援センターI 型	—	123 名
西区第 1 障がい者基幹相談支援センター	基幹相談支援センター	—	34 名
	計画相談支援	—	38 名

※5 事業所、7 事業を実施予定。契約者は令和3年2月1日時点での数。

(2) 職員の雇用状況（令和3年4月1日予定）

職員数 合計 33 名（前年度末 33 名）

【内訳】 常勤職員 20 名（男性 8 名、女性 12 名）

非常勤 13 名（男性 1 名、女性 12 名）

※基本的な職員数に変動なし

## 6. 現状と課題

令和 3 年度も新型コロナウイルスの脅威が続くことが予想される。引き続き感染対策を徹底しながら、利用者の日中活動の場を守ることを最優先事項とする。

また現状の取り組むべき課題としては、主に以下のものがある。

「法人のビジョンの共有と浸透」、「法人全体でのリモート環境の推進」

「赤字拠点の黒字化」、「人材育成の強化」、「情報発信力の強化」、「地域との連携強化」。

様々な制約があると思われるが、その中でこれらの課題克服に向け、職員全員の知恵を結集し、今自分たちにできることを模索・工夫・実行していく。

## 7. 令和 3 年度重点目標

### (1) コロナ禍に対応した体制の構築と推進

- 1) 新型コロナ感染者を出さない為、施設内での対策の徹底と周知を行う。
- 2) 4 月から管理者会議をテレビ会議で行えるよう、ハード面の構築を図る。
- 3) 在宅ワークへの対応の推進。リモートでの支援や業務ができる環境の構築。

### (2) 質の高いサービスの提供

- 1) 利用者の声や思いに真摯に向き合い、サービス内容の見直しや改善に努める。
- 2) ビジョンとキーワードの浸透。思いを共有し、日々の支援の拠り所とする。
- 3) 利用者や地域のニーズ調査を行い、今後必要な事業展開の参考とする。

### (3) 安定的な事業運営

- 1) 稼働率を適正化し、福祉報酬収入額比 5%以上の次期繰越金額確保に努める。
- 2) ぷらっととオアシスの運営適正化を行う。
- 3) 9 月までに生活訓練の訪問部門をスタートさせる。その為の準備を行う。

### (4) 人材確保と人材育成の強化

- 1) 新ホームページの活用。情報発信力の強化、求人情報へのアクセス増を図る。
- 2) コロナ禍における、実習の実施の仕方について学校側と協議する。
- 3) オンライン研修の積極的な参加。少人数での内部研修の強化。勉強会の立上げ。

## 就労支援事業計画

## ● 事業目標

- 1、「安心」「繋がり」「希望」を意識し、関わる全ての人が笑顔になれる場を目指す。
- 2、仕事や人との関わりを通じて、自信や自尊心の回復、成長を感じられる場を目指す。
- 3、年間を通して安定した事業運営を行う。

## ● 事業計画

- 1) 相手を尊重し、思いやり、助け合うことを大切に、常に安心できる環境作りに努める。
- 2) メンバー同士の繋がり、地域との繋がりを深める。
- 3) 本人の思いを第一に考えながら、自立に向けた支援、希望を感じられる支援を重視する。
- 2、1) 誰もが「役立っている」「必要とされている」と感じられる関わりと、機会の創出を行う。
- 2) 職員の支援力向上と成長の為、毎月定期的に勉強会を行う。
- 3、1) 日中活動が途切れることのないよう、引き続き新型コロナウイルス感染対策を徹底する。
- 2) コロナ禍におけるリモートでの支援の質向上、業務効率化のための環境整備を行う。
- 3) 新しい職員体制の構築と、働きやすい環境の整備を推進し、職員の定着を図る。

## つばめ工房原作業所 通所者数 平均

(人/日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
R2年度利用平均	16.6	18.4	17.1	16.7	15.6	16.2	17.1	16.9	16.4	15.5	15.5	15.5	16.5	214.0
通所	7.6	4.2	15.7	16.0	15.0	16.1	17.0	16.7	16.0	14.1	15.0	15.0	14.0	168.4
在宅支援	9.0	14.2	1.4	0.7	0.6	0.1	0.1	0.2	0.4	1.4	0.5	0.5	2.4	29.1
R3年度利用目標	15.5	15.5	15.5	15.5	15.5	15.5	15.5	15.5	15.5	15.5	15.5	15.5	15.5	201.5
通所	15.0	15.0	15.1	15.2	15.3	15.4	15.5	15.5	15.5	15.5	15.5	15.5	15.3	184.0
在宅支援	0.5	0.5	0.4	0.3	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.2	2.0

## 授産への取り組み

## ● 授産事業内容

- 自主製品…シフォンケーキ、クッキー、ジャム、手芸作品の製造と販売
- 下請作業…チラシ(帳合)、ペロル作業、行楽用品袋詰め、公民館清掃、市政便り配布、スタンプ押し

## ● 活動目標

- ・「コロナリスク軽減」「仕事と工賃の安定提供」を優先し、下請けと自主製品のバランスを取る。
- ・「つばめ珈琲ドリップパック」の商品化。新たな作業の創出と、売上アップを目指す。
- ・お互い協力しながら、やりがいと責任を持って、楽しく作業が行えるようにする

## ● 課題

- ・自主製品はバザーが主な収入源であった。今後は納品と店頭販売で稼げる形態へシフトする必要がある。
- ・下請けでは、コロナの影響で突然依頼がなくなる恐れがある。そのリスクヘッジをしておく必要がある。

## その他

## ● 実習の受入 (※新型コロナウイルス感染状況により受け入れ中止の可能性あり)

麻生医療専門学校、フチガミ、ILPお茶の水より実習生を受入れ予定。

## ● 研修計画 (※新型コロナウイルス感染リスクが高いうちは、オンライン研修を主とする)

福祉職員キャリアパス対応 新任職員コース	精神保健福祉従事者 専門研修
福祉職員キャリアパス対応 チームリーダーコース	リカバリーに関する研修
福祉職員キャリアパス対応 管理職員コース	虐待防止研修
リスクマネジメント研修 経営管理者コース	

## ● 年間行事等 (新型コロナウイルス感染リスクが低くなるまで基本自粛)

事業所内での映画鑑賞、散歩、買物など、感染リスクが低いものは状況を見て判断。クリスマス会と初詣は行う予定。

## 令和3年度 職員体制

常勤	非常勤	常勤換算
4	3	5.0

## 就労支援事業計画

## ● 事業目標

- ・利用者一人ひとりが安心して通所できる関係作り、環境作りをめざす。
- ・利用者一人ひとりがやりがいを持って、作業や活動に参加できるような支援を行なう。
- ・新規利用契約を増やすとともに、通所停滞者への働きかけを行なう。
- ・職員の支援技術の向上を図る。

## ● 事業計画

- ・利用者一人ひとりのニーズに沿った支援を行なう。
- ・日頃のあいさつや声かけを大切に、適時面談などを行なって安心できる関係作りにつなげる。
- ・利用者が主体的に関わり、達成感を得られるように作業・活動支援を行なう。
- ・新規利用者を募る為、相談支援事業所や病院等への働きかけを行なう。
- ・定期的な事業所内研修を行なうとともに、外部研修を活用していく。

通所者数実績/目標

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
2020年度	通	6.1	8.5	2.1	7.4	6.7	7.6	7.6	7.2	7.1	6.6	7.0	7.0	7.7
通所平均	在	2.6	1.2	5.8	0	0	0	0	0.1	0.2	0			
2021年度	通所目標	8.5	8.5	9.5	9.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10.5	10

## 授産事業計画

## ● 事業目標

- ・通所意欲を向上できるよう、達成感を得られるような作業支援を行なう。
  - ・コロナ禍の影響で喫茶の売上が減少している為、店舗運営の見直しを行なう。
  - ・軽作業においては、新たな請負作業の開拓や自主製品開発をめざす。
- ※作業だけでなく、他者との交流や気持ちの受けとめも大切にする。

## ● 事業計画

- ・喫茶では利用者が主体的に責任感を持って関われる場面を増やす。  
併せて魅力的な店舗作りを目指し、メニューや店舗レイアウトなどの見直しをしていく。
- ・軽作業では利用者の取り組みやすさも考慮した作業(請負、自主製品)を設定する。  
作業内容に応じて、随時作業環境の調整を行なっていく。

## その他

## ● 実習の受け入れについて

- ・新型コロナウイルスの感染状況もふまえながら、実習の受け入れを検討していく。
- ・過去受け入れ先…筑紫女学園大学、麻生医療福祉専門学校

## ● 職員研修、スタッフ会議

- |                     |                    |
|---------------------|--------------------|
| ・スタッフ会議             | ・あいれふ定例会           |
| ・つばめ定例会             | ・ちゅうちゅうネット研修会      |
| ・就労支援連絡会            | ・就労支援事業所研修会        |
| ・福岡市精神保健福祉協議会       | ・精神保健福祉従事者研修       |
| ・福岡市精神保健福祉センター運営協議会 | ・虐待防止研修            |
| ・食品衛生責任者(管理者)研修     | ・感染症予防研修           |
| ・工賃向上研修             | ・あいれふ(保護会館)防災・消防訓練 |

※オンライン研修対応を検討する。

## ● その他行事、イベント

- |                  |                  |
|------------------|------------------|
| ・舞鶴地区行事(夏祭り、文化祭) | ・合同スポーツ大会        |
| ・健康フェア(協賛)       | ・市民糖尿病教室(医師会コラボ) |
| ・みんなの集い/ハートメディア  | ・花見              |
| ・暑気払い            | ・クリスマス会          |
| ・初詣              |                  |

※ 新型コロナウイルス感染状況により、随時検討する。

令和3年度職員体制

常勤	非常勤	常勤換算
3	2	4.3

## 就労支援事業計画

## ● 事業目標

- 1.利用者者と職員が本来の自分を発揮し、笑顔でいきいきと過ごせる自由な雰囲気のある場を作る。
- 2.利用者全員に十分に目と心を行き届け、それぞれの事情に沿った個別の支援を強化する。
- 3.作業工賃のアップを目指す。
- 4.事業所として常に前を向き、小さくても何か新しいことに取り組む前進する姿勢を持つ。

## ● 事業計画

- 1.新型コロナ感染対策を徹底して感染者を出さないように心がけ、日中活動の場を維持する。
- 2.多機能事業所として、B型、生活訓練とも安定した通所者数を確保する。
- 3.対話を増やし、利用者の安心感を高め、悩みや課題の解決を図る。核心に触れた個別支援の充実。
- 4.請負作業も大切にしつつ自主製品の検討、開発を進め、利用者のやりがいにつながる作業の提供。
- 5.B型と生活訓練がお互いに良い影響を与え合い、協力し合えるような環境を作る。
- 6.利用者のステップアップのための動機づけと機会の提供。
- 7.職員は常に向上心を持って、さらなる専門知識及び援助技術の習得をめざし自己研鑽に努め、利用者に還元し、同時に自分自身の成長につなげる。

## ピアつばめ B型 通所者数 平均/目標

(人/日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
R2年度 通所平均	9.3	5.6	14.1	15.2	14.9	14.4	14.7	15.5	15.6	14.9	15.0	15.0	13.7	164.2
R2年度 電話支援平均	9.2	13.3	3.0	1.0	1.2	1.4	1.4	1.3	1.8	2.1	1.5	1.5	3.2	38.7
R2年度 合計	18.5	18.9	17.1	16.2	16.1	15.8	16.1	16.8	17.4	17.0	16.5	16.5	16.9	202.9
R3年度 通所平均目標	15.5	15.5	15.5	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	16.0	15.9	190.5
R3年度 合計平均目標	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	17.0	204.0

## 授産への取り組み

## ● 活動目標

- 1.自主製品制作と請負作業を組み合わせ作業を提供する。利用者が体調、能力、適性によって作業を選べるように柔軟性を持たせる。
- 2.自主製品については既存の商品の売り上げ増、新しい商品の開発、定着に力を入れ、丁寧な作品作りを行う。リピーターのつく魅力的な商品を目指していく。商品の宣伝も行っていく。
- 3.スタッフの細かい指示がなくても自分から積極的に気付ける自主性、積極性を育てる。
- 4.請負作業を一件増やし、利用者への作業分配の安定性を維持する。（コロナ禍で作業が減少した為）

## ● 課題

- 1.新型コロナの影響で一件受注元が減少した。請負作業の不安定さを日頃から痛感しており、安定した仕事を確保したい。
- 2.新規利用者はいるものの、毎日通所できる新規利用者がほとんどいない。
- 3.コロナが落ち着いたら、ぜひ新しい事業（仕事）を考えたい。今のままでは工賃アップは行き止まり、既にマンネリ化の声も聞こえる。利用者にとっての魅力的な事業所になるためには新しい変化も必要と思われる。

## その他

## ● 実習の受入

精神保健福祉士実習指導者1名在籍

新型コロナ感染の状況を見ながら、受け入れ検討の予定。

## ● 職員研修

サービス管理責任者研修

ストレスマネジメント研修

リスクマネジメント研修

キャリアパス対応生涯研修等

新型コロナ感染の状況を見ながら受講検討の予定。

## ● 行事

新型コロナ感染状況を見ながら、その都度検討の予定。



グリーンコープ帳合作業

R.3年度 職員体制

常勤	3名	合計	5名
非常勤	3名	常勤換算	3.9名



## 自立訓練（生活訓練）事業計画

## ● 事業目標

- 1.安心できる居場所であると同時に、夢に向かって前進できる場所を作る。
- 2.自立し安心して楽しく日常生活が送れることを目的としてプログラムを行う。
- 3.利用者の自尊心の回復と生活上の目標の設定を支援する。
- 4.それぞれの個別支援計画に基づき、一人一人の状況に応じた個別の支援を充実させる。

## ● 事業計画

- 1.新型コロナ感染対策を徹底して感染者を出さないように努力し、日中活動の場を維持する。
- 1.引きこもりがちな利用者の通所を促し生活リズムを確立し、意欲、集中力、持続力を醸成する。
- 2.利用者の実生活に必要な技術、体力づくり、生活の質を高めるためのプログラムの提供。
- 3.個別の対話を重視しニーズを探り、個別の支援を充実させ、サービス内容の見直しや改善を図る。
- 4.利用者数を増やし、生活訓練自体の活性化、運営の安定化を図る。
- 5.スタッフ配置を充実させ、それに伴い訪問支援を開始する。

## ピアつばめ 生活訓練そらいろ 通所者数 平均/目標

(人/日)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均	合計
R2年度 通所平均	2.0	1.4	3.0	2.5	2.6	2.4	2.3	2.6	3.3	2.8	2.5	2.5	2.6	23.5
R2年度 電話支援平均	1.4	2.2	1.0	0.6	0.4	0.7	0.4	0.2	0.3	1.0	0.6	0.6	0.5	4.8
R2年度 合計	3.4	3.6	4.0	3.1	3.0	3.1	2.7	2.8	3.6	3.8	3.1	3.1	3.1	28.3
R3年度 通所平均目標	2.5	2.5	3.0	3.0	3.0	3.0	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.5	3.2	38.0
R3年度 合計平均目標	3.0	3.0	3.5	3.5	3.5	3.5	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	4.0	3.7	44.0

## 訓練への取り組み

## ● 活動目標

- 1.規則正しい生活を送るために通所回数が増やせるように、「来たくなる」心地よい居場所としての「そらいろ」を作る。
- 2.プログラムにきちんと参加して、集中して真摯に取り組むことができることを目指す。
- 3.基本的な生活習慣を自主的に確実に、また生活に必要な最小限の家事技術を得ることを目指す。
- 4.生活に楽しみや希望を持てるように、活動に季節感も取り入れ、趣味充実や健康回復のための訓練を充実させる。
- 5.利用者の生活の様子を把握し、露出していないニーズや悩みを探り解決の支援を行う。
- 6.実生活に応じた本人の生活の場での支援を行うために、スタッフを増員し、訪問支援を開始する。

## その他

## ● 実習の受入

B型に準ずる

## ● 職員研修

B型に準ずる

## 令和3年度 職員体制

常勤	常勤換算
2	2



調理実習 お好み焼き作り

## 地域活動支援センター事業計画

## ● 事業目標

- ・地域で暮らす障がい者やそのご家族をはじめ、地域の方、関係機関、職員が互いにつながり、支え合いながら誰もが安心して過ごせる居場所づくりに努める。
- ・地域交流を図り、誰もが役割や楽しみを見出せる社会づくりを目指す。
- ・職員の成長のため、研修会などに積極的に参加する。

## ● 事業計画

- ・利用者を温かく迎え、安心して過ごせる場の提供に努め、コミュニケーションを図りながら様々な相談に対応する。
- ・利用者が希望を持てるような関りを心掛け自尊心の回復を促し、職員も共につながりを地域へ広げていく。
- ・職員は研修参加などを通して常に自己研鑽に努め、地域福祉に貢献する。

R2年度登録者数	R3年度登録者目標数
123	125

R2年度1日平均利用者数	R3年度1日平均利用者目標数
16	16

## Ⅰ 型事業への取り組み

## ● 目標・課題

1. 個別支援の充実
2. 地域との連携強化
3. 人材育成の強化

## ● 具体的な内容

1. 館内の温かい雰囲気づくりに努め、利用者が相談しやすい環境を提供できるよう配慮する。  
また、利用者の声や思いに真摯に向き合い、他機関とも連携しながらニーズに沿った適切な支援に努める。
2. 利用者、地域ボランティア、職員が共に活動を行うことで、障がいへの理解の促進に努める。利用者が日頃から地域とつながるために、活動を通して周囲の思いを受入れたり、自身の思いを表現したりすることを学ぶ。
3. 職員は常に利用者の立場に立ち行動する。研修には積極的に参加し、広い領域で活躍できるよう研鑽を積む。

## その他

## ● 実習生の受入

令和3年度も、大学と専門学校から実習生を受け入れる予定。精神保健を学ぶ学生に、障がいについての理解を深めてもらいたいという思いと、採用につながる可能性もあり、面接だけよりもより学生を見ることが出来るため、今後とも受け入れを行っていく。

## ● 職員研修

相談支援従事者初任者研修(1名)、防火管理責任者更新(1名)  
そのほか他機関で行われている精神疾患や各種障がいの支援についての研修に参加する。

## ● 居住サポート事業

賃貸契約による一般住宅（公営住宅及び民間の賃貸住宅）への入居を希望しているが、保証人がいないなどの理由により入居が困難な障がいのある方等に対して、入居に必要な調整等・家主等への相談・助言も含め支援を行い、障がいのある方の地域生活支援を行う。

## ● 新たな取り組み

来所が難しい利用者にも支援が行き届くような、訪問を主とした新規事業の立ち上げを検討する。

## ● 事務作業の自動化

R2年度に入力作業を終えたデータベースをもとに、事務処理を簡略化するシステムづくりを行う。

R3年度職員体制	常勤	非常勤	常勤換算
	2	4	4.1



## 地域生活支援拠点等の整備事業計画

## ● 事業目標と計画

## 1 区ごとのネットワークの構築

- ・「西サポネット」実行委員会の運営【4/16,6/18,8/20/9/17,10/15,12/17,2/18】
- ・「西サポネット」研修の開催:オンライン、通常研修、ハイブリット式での実施
- ・サービス種別研修の実施

## 2 区内の相談支援事業所のネットワークの構築

- ・相談支援事業所『西区相談あつまろう会』の実施
- ・ケアマネ、相談支援専門員の連携の構築

## 3 区内の相談支援事業所に対する専門的な指導・助言・人材育成

- ・ケース検討会の実施、および同行支援、ケースマネジメント

## 4 地域福祉の基盤づくり

- ・地域包括支援センターとの連携
- ・社会福祉協議会CSWとの連携協議
- ・圏域会議への参加～介護と福祉の共同
- ・SSWとの連携強化～学校と地域のネットワーク、不登校支援～引きこもり予防

## 5 緊急時の対応についての取組

- ・緊急時受け入れ・対応拠点との連携
- ・地域資源の緊急時対応のネットワーク：運用基準の検討、試用
- ・緊急時拠点事前登録の促進
- ・緊急時対応者リストの作成

## 指定特定相談支援事業計画

## ● 特定相談・一般相談

- ・地域移行・地域定着の推進～新型コロナウイルス影響下での退院促進
- ・加算申請、請求体制の整備

## その他

## ● 職員研修

- ・区障がい者基幹相談支援センター相談支援専門員研修年度計画に基づき参加
- ・ゆうゆうセンター合同研修会(1/3か月):企画、実施

## ● R3年度課題

- ・新型コロナウイルス影響下での地域拠点整備、及び包括ケアアシシステム構築に向けた、各種団体へのアプローチ
- ・離島3島への地域介入、及び在島障がい者への介入、支援

R3年度職員体制

常勤

5

常勤換算

4.8